

災害時わが子を守る知恵を

大船渡 NPO 育児世代へ啓発活動



大船渡市のNPO法人こそだてシップ(伊藤恰子理事長)は28日まで、同市盛町のショッピングセンター「サン・リア」内の子育て支援センター「すくすくル

ーム」で、子育て世代への防災意識の啓発活動を行っている。防災グッズの展示や東日本大震災の経験を共有することを通じ、震災の風化防止と子どもたちの命を守る知恵を伝える。

同法人の「幼い命を守る防災月間」の取り組み。おむつ、ウエットティッシュ、水にぬれても使用可能なホ

災害時に役立つ防災グッズを眺めるすくすくルームの利用者

イッスルなどの防災グッズや津波ハザードマップの展示、非常時に役立つおんぶの実演トレーニングなどを行っている。

利用者からは「災害時の備えはしているが自分の感覚が正しいのかわからないので助かる」との声もあり、

防災意識を高めるため母親間で震災時の経験を語り合う機会も設けている。

伊藤理事長(73)は「震災からまもなく6年がたち、徐々に防災への関心が低下しつつある。利用者以外の人も見学し、官民一体での母子への配慮や支援を考えてほしい」と呼び掛ける。

すくすくルームの利用時間は水曜日を除く午前10時〜午後4時。